

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

団体に対するミッション
<p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。</p> <p>これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者数の拡大に取り組む。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
交通量（台／日）	89,364	92,102	92,885	92,304	前年度水準を維持する	90,298		
緊急措置発生数（件）	0	0	0	0	0	0		

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価	<p>インフラ長寿化計画に基づき、計画的な維持・修繕に取り組んだ。</p> <p>国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施した結果、緊急措置発生件数はゼロであり、安全性の確保に努めた。</p> <p>また、平成30年7月豪雨災害で被災した北九州高速の復旧工事については、令和2年3月にすべて完了した。</p> <p>交通量については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、対前年度比2.2%の減少となった。</p>	市の評価	<p>平成26年度に策定された点検計画に基づき、計画的な維持・修繕を実施するとともに、橋梁、トンネル等の近接目視点検を適切に実施した結果、緊急措置段階発生件数をゼロとするなど、道路の安全性の確保を図っている。</p> <p>また、交通量は新型コロナウイルス感染症の影響等により減少したものの、着実な償還ができているため、一定の評価ができる。</p>
	今後の課題及び見直し内容（案）		<p>今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性を確保していく必要がある。</p> <p>利用促進については、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、ホームページの情報内容の充実、イラスト地図の設置個所の見直し及び新規配布先の開拓、外部広告媒体への広告掲載等を行い、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を目指す。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性の確保に努めた。</p> <p>また、利用者の拡大を図る方策として、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、イラスト地図の設置個所の見直し及び新規設置先の開拓、子供や新規免許取得者向けの冊子への都市高速の広告の掲載、SNS（LINE）による情報発信など、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を行った。</p>	